

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	環境衛生事業				
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係	課長名 石川 博隆

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	1 - 1	-
【施策名】 学校教育の充実	総合計画書 (ページ)	31	

予算名	款 <sup>10</sup>	教育費	項 <sup>2</sup>	3	小学校費 中学校費	目 <sup>4</sup>	学校保健衛生費	事業 <sup>1</sup>	健康管理事業費
-----	-----------------	-----	----------------	---	--------------	----------------	---------	-----------------	---------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 小中学校の環境衛生 ・飲料水 ・プール水 ・照度 等 →	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 検査項目
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 環境衛生を良好な状態で保つことにより、教職員及び児童生徒の健康の保持・増進を図る。 →	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 適となった検査項目数
	③ そのために何をしましたか。 学校保健安全法、学校保健安全法施行規則及び学校環境衛生基準等に基づき、環境衛生に係る検査等を実施した。 →	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 検査対象の項目数

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
	対象指標	①の数値	項目	135	135	135	/	
	成果指標	②の数値	項目	135	135	135	/	
	目 標	②の目標値	%	100	100	100	100	100
		目標値設定の考え方 学校の環境衛生を常に良好な状態に維持することが、この事業の目的である。						
活動指標	③の数値	項目	135	135	135	/	/	

3 経費	事業費(実績)		円	748,980	794,880	811,296	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	748,980	794,880	811,296	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	1,653,400	1,650,600	1,648,800	
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
事業費+人件費		円	2,402,380	2,445,480	2,460,096		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 学校保健安全法、学校保健安全法施行規則及び学校環境衛生基準の規定に基づき事業を実施している。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 特になし。

仕 事 の 内 容	環境衛生事業				
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係	課長名 石川 博隆

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし。				
	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
6 市民協働	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 特になし。				
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 環境衛生検査（ホルムアルデヒド等）において、体育館で検査を行う場合の日程調整。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 事前に体育館の工事予定を建築課に確認し、日程を調整した。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 体育館工事の工期が長い場合日程調整が困難である。				
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 予算をたてる段階から建築課と日程調整をする。				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 建築課との情報共有。				
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。	